

早まる就活 名経大動く！



企業の人事担当者から、事業内容などを聞く学生たち＝犬山市の名古屋経済大で

会社説明会前倒し 3年生夏に

企業による大学新卒者の採用活動が早まり、「3年生になったらすぐ就職活動に動き出さないと遅い」とも言われる現代の就職戦線。この流れを受けて、犬山市の名古屋経済大も、学生への支援を前倒し。例年なら冬に開いている3年生向けの「学内企業研究会」（会社説明会）を、夏休みに入った5、6の両日に開いた。（水越直哉）

真っ白なシャツを着た学生で、ぎっしり詰まった大学の1室。企業の人事担当者が「この業界は伸びると言われています」「こうしたキャリアアプランを用意しています」と盛んに自社をPRした。鉄道会社やIT、小売業など計35社が参加し、のべ約350人の学生が説明を聞いた。名経大によると、この地方の文系大学で、3年生の夏に説明会を開くことは珍しいという。

そもそも困は企業に対し、採用活動は3年生の終わりから始めるよう求めている。「学業に専念し、安心して就職活動に取り組める環境をつくるのが重要」というのが理由。具体的には会社説明会は3年生の3月から、

35社がPR 学生「早く活動でき安心」

採用は4年生の6月から解禁するよう求めている。しかし、このスケジュールはかなり前から有名無実化している。

名経大キャリアセンター長の大黒光一さんは「企業の採用の動きが早期化していて、学生もそれに合わせて動かないといけない」と指摘。今回の企業研究会も「うちの学生だけ損をするようなことがあってはいけない」という考えから、前倒しを判断した。

参加した3年、瀬見井悠さん(21)は「早く活動できるのは安心できる」と話す。4年生になって就活を始めた先輩の苦労する姿を見たことや、今回の説明会で企業から「3年生の段階で内定を出している」と聞いたからだ。自身も2年生の夏には、就活情報サイトに登録したという瀬見井さん。「就活は人生にとって、とても大事な選択。社風に合っているかなど、いろいろな企業を早くから見られるのはありがたい」と話していた。